

JavaScriptの基礎

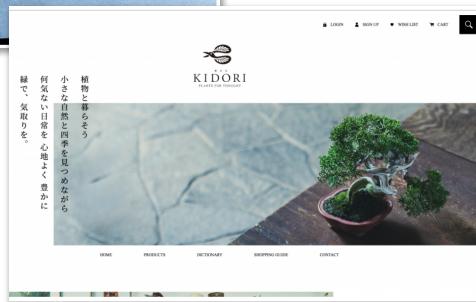
JavaScriptを理解しよう

JavaScriptを学習しよう

Javascriptとは？

Javascriptは現在のWEB開発において必須といっても過言ではありません！
現在は多くの「ライブラリ」と呼ばれる便利な機能をひとまとめにしたものが開発されて利用されています。

「jQuery」 「React」 「Node.js」などがあります。※JAVAとJavascriptは別物



JavaScriptを学習しよう

Javascriptを実行しよう！

jsのコードを実行し、基本的な動きを理解してみましょう！

「`console.log("○○");`」 というコードを書くと
○○の中の文字が表示されます。

test.js

`console.log("はじめてのジャバスクリプト");`
カッコの中の値を出力しなさい！ という命令

JavaScript実習！

演習1

ではここで実際にパソコンで作業を進めていきましょう！

1. test.jsを作成し、HTMLに読み込ませてみよう※一緒にやります
2. console.log("はじめてのジャバスクリプト");と記載してみよう
3. 検証ツール→コンソール画面に表示されるかチェックしよう

JavaScriptを学習しよう

数値を扱おう！

phpと同様に数値を扱うこともできます。

数値は文字列と違いクオーテーションで囲めません！

足し算には「+」、引き算には「-」の記号を用います。

数値と記号はすべて半角なので注意！

test.js

```
console.log("3");
console.log("5+3");
console.log("5-1");
```

数値は文字列と違いクオーテーションで囲みません。

JavaScript実習！

演習2

ではここで実際にパソコンで作業を進めていきましょう！

1. test.jsに記述する

2. console.log();を使って下記の問題を解く

- ・ $23+5$ を計算しなさい
- ・ $2000-1800$ を計算しなさい
- ・ $18+5$ を文字列で表示させなさい

3. 検証ツール→コンソール画面に表示されるかチェックしよう

JavaScript実習！

変数を理解しよう！

PHPで登場した「変数」をjsで書くと下記のようになります。

PHP同様、変数というのはデータを入れる箱のようなイメージを持ってください。

test.js

var name=就職キャンプ太郎

変数の宣言 代入される値

変数名は数字からはNG！

JavaScript実習！

演習3

ではここで実際にパソコンで作業を進めていきましょう！

1. test.jsに記述する

2. 下記の問題を解く

- ・変数nameを定義し、「自分の名前(みんなの名前)」を代入してください
- ・nameを用いて、「自分の名前」とコンソールに出力してください
- ・「name」という文字列をコンソールに出力してください

3. 検証ツール→コンソール画面に表示されるかチェックしよう

JavaScriptのルール！

変数の名前のルール

`var hako`…英単語で始まっているのでOK

`var 1hako`…数字で始まっているのでNG！※数字から始めては絶対にダメ！

`var はこ`…日本語で始めてはいけません

最初はとても混乱するかもしれません、まずは「数字」からはダメ！ということ

日本語を使ってはいけないということを理解しておけば大丈夫です！

特に数字からは忘れがちなので注意しよう！

JavaScriptを学習しよう

if文 条件分岐を理解しよう

続いては条件分岐です。if文は条件に応じて処理を「分ける」ことができます。
phpで既に学習していますが、書き方はほとんど同じです！

test.js

```
if(条件){  
    条件が真であれば実行  
}else{  
    条件が偽であれば実行  
}  
( )内に条件を書き、条件が一致すれば  
{ }内の処理が実行されます。
```

JavaScriptを学習しよう

if文の書き方は？

if文の書き方は下記のような方法で記述します。

test.js

```
if(条件){  
    条件が真であれば実行  
}else{  
    条件が偽であれば実行  
}  
( )内に条件を書き、条件が一致すれば  
{ }内の処理が実行されます。
```

JavaScript実習！

演習4

ではここで実際にパソコンで作業を進めていきましょう！

1. test.jsに記述する
2. 下記の問題を解く

```
var point=90;
```

pointが80点以上の場合は「素晴らしい！おめでとう！」と表示させる

それ以外の場合は「もっと頑張りましょう！」と表示させる

※if文を使う

3. 検証ツール→コンソール画面に表示されるかチェックしよう

JavaScriptを学習しよう

関数を使ってみよう！

関数とは便利な機能をまとめてくれているものだと最初は思ってください。始めから用意されているもの、自分で作るもの、2パターンが存在します。

test.js

```
//乱数が0～5まで表示される  
Math.floor( Math.random() *5);  
  
最初は混乱するかもしれませんが、  
とりあえずこれを活用すれば良いと覚えておこう！
```

JavaScript実習！

演習5

ではここで実際にパソコンで作業を進めていきましょう！

1. test.jsに記述する
2. **Math.floor(Math.random() *5);** を変数に代入してみよう！

そしてコンソールで表示させてみよう！

3. 検証ツール→コンソール画面に表示されるかチェックしよう